

1998年に乙訓青年会議所は「地球市民意識あふれる乙訓」を理念に掲げた2020年ビジョンを策定しました。そこには「自分が変われば周りが変わる。周りが変われば地球が変わる」と謳われています。このビジョンの実現には、まず、我々メンバーが地球市民意識を持ち、個として成長しなくてはなりません。個の成長は、組織の成長にも繋がるのです。メンバー同士が上辺だけの人間関係だけでなく、自立・共生・創造という考え方をもち、真の人間関係を築き、周りに伝える事が出来ればきっと乙訓全体にも波及し、地球市民意識あふれる乙訓へと変わり、ビジョンが実現出来ると考えます。

ビジョンとは、自分が何者で、何を目指し、何を基準にして進んで行くのかを明確にし、理解する事であると考えます。自分が何者かを考える事で、目的が明確になり、何を目指しているのかを考える事で、未来のイメージが描けます。何を基準にするのかを考えれば、価値観がはっきりします。そして、理解する事で、日々どのように行動すれば良いかが解ります。どんなに優れたビジョンであっても、理解していなければ意味がありません。どんなに優れた個が集まっても同じ方向を向かなくては組織として力を発揮する事は出来ません。ビジョンは、組織を烏合の衆としない為に必要なものなのです。

本年度は30周年の折に発表した新5カ年行動指針の最終年度を迎えます。また、一昨年乙訓青年会議所は公益社団法人格を取得し、これまでよりも一層の公益性を求められる団体となりました。これらの事を踏まえ、本年度ビジョン会議では、公益法人として未来を見据え、ビジョン達成に向け進み出せるような中短期の行動指針策定に向けた議論を行って参ります。その為に、この5年間に行った活動を振り返り、新5カ年行動指針の達成を検証する事で、2020年ビジョンへの現在の到達点を、明確にする事が出来ると考えます。それを基に、LOMメンバーが共有するビジョンを創る為に会議体で議論して参ります。また、LOMの皆様にも、ビジョンを理解し共有して頂けるような学びの場である勉強会を開催し、10月例会に於いては、新たな行動指針の草案を発表させて頂きたいと思っております。2014年度には、創立35周年という節目を迎えます。明るい豊かな社会の実現に向けて活動されて来た先輩諸兄の情熱を、次代に引き継ぐ事が出来るような式典や記念事業を開催する為に、事前の準備を進めて参りたいと思っております。会員拡大活動に於いては、一人でも多くの同志を増やす為に、会員拡大委員会と連携協力して行きます。また、青年会議所運動の原点は「まちづくり、ひとづくり」にある事を意識して、まちづくり事業、ひとづくり事業へも連携協力をしっかりと行って参ります。

最後にビジョン会議では「直心熱動」のスローガンの基、一所懸命青年会議所活動に取り組みながら、志を同じくする仲間と自分の真っ直ぐな心を信じて、感謝の気持ちと思いやりを忘れずに、熱い気持ちで活動して参ります。